

【ペン習字部】

熟練性こそ教養だと言いたいのである。またそこにこそ道徳の基礎がある。

〇〇書

【A4 白紙】

【実用毛筆部】

講演抄録集  
1265 円 (税込)

【A4 白紙】

【書道部】

風鳶藏近渚

朝雨

朝雨

涼氣曉蕭蕭  
江雲亂眼飄  
風鳶藏近渚  
雨燕集深條  
黃綺終辭漢  
巢由不見堯  
草堂樽酒在  
幸得過清朝

涼氣曉に蕭蕭たり、  
江雲眼を乱して飄る  
風鳶は近き渚に蔵れ、  
雨燕は深き条に集まる  
黄綺終に漢を辞し、  
巢由堯を見ず  
草堂に樽酒在り、  
幸いにも清朝を過すを得

【かな書道部】

古畑や薺摘行男ども

【幅広の短冊】

● たて書き名言課題（亀井勝一郎「芸術・教養・人生」昭和二十六年）です。

● A4 白紙をたて置きにして、たて書きして下さい。改行の位置、行数は自由とします。体裁よく納めて下さい。書体は自由とします。

● 行間、余白等に十分留意しながら、全体の調和をよく図って書くようにします。

● 用筆は硬筆の範囲内で自由とします。  
● 漢字およびかなは課題のとおりに書いて下さい。

● 「〇〇」にはあなたの名前を書いて下さい。

● 掲示紙（講演抄録集の販売）の課題です。

● A4 白紙を横置きにして、横書きして下さい。改行の位置、行数は自由とします。体裁よく納めて下さい。

● 書体は楷書体か行書体で書いて下さい。

● 字粒、行間、余白等に十分留意しながら、全体の調和をよく図って書くようにして下さい。

● 上の五言律詩（杜甫）枠内の五文字を半紙又は小画仙半切に自運してください。

● 半紙に書く場合には、丁例競争の要領で書いて下さい。小画仙半切に書く場合は、作品制作の様々な技法を用いて書くようにして下さい。

● 書体は自由とします。二書体を選んで提出して下さい。この課題の他に1ページの条幅課題を提出されても結構です。

● 小画仙半切にこの漢詩全体または部分を作品としてまとめようとお勧めします。

● 俳句ちらし書き（芭蕉・柱暦）の課題です。

● 幅広の短冊又は幅広の短冊サイズの紙（cm×7.8cm/1.2尺×2.6寸）をたて置きにして、たて書きして下さい。配字は自由とします。

● 書体は自由とします。変体仮名使用可。漢字を仮名にまた仮名を漢字に変えても構いません。

● 小画仙半切にこの俳句を作品としてまとめてみることをお勧めします。

● 句読点は書かなくても構いません。

● ふりがなは書かないこと。

※ 亀井勝一郎（一九〇七～一九六六）：昭和時代の評論家。新人会に参加したが、昭和三年三・一五事件直後に検挙され、獄中転向。十年保田与重郎らと「日本浪漫派」を創刊、ついで「文学界」同人となる。古典や仏教美術に関心をふかめ、「大和古寺風物誌」などをかく。戦後は「日本人の精神史研究」をライフワークとした。



● 意味：冷たい風が明け方にひゅうひゅう吹き、川の雲が目をして飄る。風に吹かれる鳶は近くの渚に隠れ、雨の中の燕は茂みの奥の枝に止まった。夏黄公と綺里季は結局漢を去り、巢父と許由は堯に会おうとしなかった。草堂には酒があるので、これですがしい朝を過ごすことができる。

● 落款および落款印は入れても入れなくてもかまいません。

● ふりがなは書かないこと。

● 意味：冬を越した畑の端を、幾度となく腰をかがめて薺を摘んでゆく男たちがいる。

● 解説：「薺」はペンペン草で、春の七草の一つ。若菜摘みには古く婦女子のイメージがあるが、それを男たちが丁寧に薺を摘んでゆく姿に転じ、現実的なおかしみを加えた。